

◇助手 後藤信行 教授 永井芳男「アセナフテンに関する研究 (第15報) — $\alpha$ ,  $\beta$ -ジクロル・無数ナフタル酸の合成ならびにメチルイミド化—」日本化学会第11年会講演会 (1958. 4)

◇助手 後藤信行 教授 永井芳男 技術研究生 寺島孝一「アセナフテンに関する研究 (第16報) —9, 10-ベンゾイレンペリレン-3, 4-ジカルボニル-N-メチルイミドの塩素化—」同上 (同上)

◇助手 後藤信行 教授 永井芳男 技術研究生 富山承一「アセナフテンに関する研究 (第17報) —9, 10-ベンゾイレンペリレン-3, 4-ジカルボニル-N-メチルイミドのニトロ化—」同上 (同上)

◇教授 永井芳男 技官 田辺正士 技術研究生 石井健一「トルエンとクロルシアンとの反応」以上 (同上)

◇教授 永井芳男 技官 田辺正士 技術研究生 本多梁作「ポリビニルアルコールとニトロベンズアルデヒドとの反応」同上 (同上)

◇助教授 山辺武郎 技術研究生 下条うた子・田中米吉 「イオン排除による食塩と硼酸の分離」日本塩学会第9回総会 金沢市金沢商工会議所において

(1958. 5. 15)

◇助教授 高橋幸伯 「水位計について」造船協会春季講演会において (1958. 5. 16)

### ☆寄 稿☆

◇助教授 黒川兼行 “The Expansions of Electromagnetic Fields in Cavities” I R E Transactions on Microwave Theory and Techniques. M T T—6 No. 2 p.p. 178—187 (1958. 4)

◇教授 高橋武雄 教務員 桜井 裕「電流滴定法を用いた連続電量滴定法」分析化学, 7, 296—300(1958. 5)

### ☆ 生研所員海外渡航状況

◇第3部 藤高周平教授は、パリにおいて開催される第

17回国際送電網会議に日本代表として出席し、あわせて欧州諸国を訪問し、超高压電力技術、特に雷害防止に関し視察するため、約1ヶ月間の予定で5月31日東京国際空港を出発。

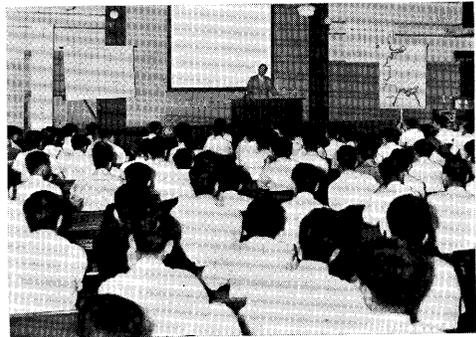
### ☆本所の公開☆

去る5月31日は本所の創立第9回記念日で、例年のように所内を開放し、研究を公開した。当日は好天気で、招待者、一般来観者合せて約3,700名の多数にのぼった。試作工場予定建物内に集中的に展示された各研究部の研究は、とくに注目を引き、中でもロケットの研究、原位置土の強さの試験機の試料として出された競技場用アンツカなどは、一般来観者の興味を引いた。

その他、研究室の公開、専門家への特別公開も広い場所内を点々としたところを、折からの暑さにもかかわらず、熱心に見て廻る人も多数であった。

午後には、講演と映画が行われたが、映画は、中、高校生のため、とくに午前中3回の追加映写をした。

なお、前日には、本所の外郭団体主催の理事会と評議会が、生研協議会を兼ねて開かれ、公開日に先立って、研究が供覧された。



講演・映画会場のスナップ

### 筆 者 紹 介

- ◇星合正治 教授 工博 専攻 電子管工学
- ◇小瀬輝次 技官 専攻 応用光学
- ◇鈴木恒子 技術員 専攻 同上
- ◇小川正義 教授 工博 専攻 精密機器学・精密加工学
- ◇古川 浩 研究員 専攻 精密機器学

- ◇山本 寛 教授 工博 専攻 化学工学
- ◇水町長生 助教授 専攻 ガスタービン
- ◇内田正次 技官 専攻 同上
- ◇金子和男 技術員 専攻 同上
- ◇高橋武雄 教授 工博 専攻 有機工業分析学
- ◇三宅信午 技術研究生 専攻 同上

### 編 集 委 員

- 編集委員長 渡 辺 要
- 編集委員 小瀬輝次
- 渡 辺 勝
- \*小川正義

### 編 集 委 員

- 田 宮 真
- 鈴 木 弘
- 黒川兼行
- 安達芳夫
- \*金森九郎

### 編 集 委 員

- 永井芳男
- 松下幸雄
- 関野 克
- 久保慶三郎

### 専 門 委 員

- 星野昌一
- 下村潤二郎
- 編集室 水野晴明

\*印当番委員

第10巻 第6号

生 産 研 究

(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として、毎月1回発行する)

1958年6月1日 発行

頒 価 60 円

編 集 者  
発 行 者

渡 辺 要  
福 田 武 雄

印 刷 者  
発 行 所

三 美 印 刷 株 式 会 社  
東 京 都 千 代 田 区 神 田 多 町 2 の 7  
東 京 大 学 生 産 技 術 研 究 所  
千 葉 市 弥 生 町 1  
電 話 千 葉 (2) 0 2 6 1 (代 表)